

平成19年4月6日

各位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号



平成19年上期の金属製品の生産予定について

品目	単位	平成19年上期 生産予定	平成18年下期 生産実績見込	平成18年上期 生産実績
銅	t/期 (t/月)	310,000 (51,667)	306,900 (51,150)	292,005 (48,668)
硫酸	t/期 (t/月)	835,000 (139,167)	778,100 (129,683)	798,322 (133,054)
金	kg/期 (kg/月)	16,100 (2,683)	15,500 (2,583)	14,332 (2,389)
銀	t/期 (t/月)	150 (25)	162 (27)	171 (29)

以上

お問い合わせ先： パンパシフィック・カッパー株式会社
総務部 村山・小松崎
(TEL : 03-3560-8600)

(付帯説明)

(1) 銅

上表は日鉱製錬(株)における銅生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における銅生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：18年上期実績	215,178T	日比共同製錬：18年上期実績	76,827T
18年下期見込	219,800T	18年下期見込	87,100T
19年上期予定	224,300T	19年上期予定	85,700T

平成19年度上期の日鉱製錬銅生産量については、昨年実施したS P I工事完成および定修の実施がないことの影響により対前期比約2%の増産を予定している。

平成19年度上期の日比共同製錬銅生産量については、持込み原料の期ずれにより対前期比約2%の扱い量減を予定している。

(2) 硫酸

上表は日鉱製錬(株)における硫酸生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における硫酸生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：18年上期実績	596,707T	日比共同製錬：18年上期実績	201,615T
18年下期見込	547,800T	18年下期見込	230,300T
19年上期予定	616,000T	19年上期予定	219,000T

平成19年度上期の日鉱製錬硫酸生産量については、定修の実施がないことの影響及び鉱石供給量の増加により、対前期比約12%の増産を予定している。

平成19年度上期の日比共同製錬硫酸生産量については、持込み原料の期ずれ及び原料組成差により、対前期比約5%の扱い量減を予定している。

(3) 金及び銀

上表は日鉱製錬(株)における金及び銀生産量(全量)を記載。

金については、原料調達状況に基づき、対前期比約4%の増産を予定している。

銀については、原料調達状況に基づき、対前期比約7%の減産を予定している。

以 上